



2022年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月8日

上場会社名 オプテックスグループ株式会社
 コード番号 6914 URL <https://www.optexgroup.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 小國 勇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 大西 浩之

TEL 077-527-9861

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

2022年9月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	27,241	19.7	3,590	42.4	4,297	51.2	3,120	62.4
2021年12月期第2四半期	22,750	36.7	2,520	221.8	2,841	225.6	1,921	227.7

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 4,393百万円 (65.7%) 2021年12月期第2四半期 2,651百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	87.85	87.29
2021年12月期第2四半期	53.13	52.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	61,543	39,256	63.3
2021年12月期	57,769	35,360	60.7

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 38,937百万円 2021年12月期 35,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		15.00		15.00	30.00
2022年12月期		18.00			
2022年12月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	15.6	6,000	29.6	6,100	18.9	4,600	22.3	129.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期2Q	37,735,784 株	2021年12月期	37,735,784 株
期末自己株式数	2022年12月期2Q	2,210,451 株	2021年12月期	2,214,684 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期2Q	35,523,474 株	2021年12月期2Q	36,161,241 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料につきましては、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す。」を企業理念とし、グループ本社機能の強化・レベルアップによりグループ全体の間接コストを抑制し、グループ各社の事業展開スピードを向上させ利益成長を加速することを経営方針としております。

本年度の重点施策として、グループ本社の管理機能を向上させることにより、グループ全体のコストの効率化と財務力の強化を図り、グループ各社の機動的な事業展開を促進しております。また、グループ各社の事業連携の強化を推し進め、シナジーの創出を加速することを目指しております。

当第2四半期連結累計期間は、既存主力事業の大幅な伸長及び新規事業会社の連結効果等により、売上高は272億41百万円と前年同期に比べ19.7%の増収となりました。利益面につきましても、売上高の伸長に伴う売上総利益の増加が販売費及び一般管理費の増加を大きく上回ったため、営業利益は35億90百万円（前年同期比42.4%増）となりました。また、経常利益は為替差益の増加等により42億97百万円（前年同期比51.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、31億20百万円（前年同期比62.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① S S 事業

S S 事業は、売上高115億9百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は15億54百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

防犯関連は、売上高は79億56百万円（前年同期比16.5%増）となりました。国内におきましては、部品不足による製品供給遅延が影響し、前年同期実績を下回りました。一方、海外におきましては、米国及びヨーロッパでの大型重要施設向け屋外用センサーの販売が順調に推移し、前年同期実績を大幅に上回りました。

自動ドア関連は、国内向けの販売が堅調に推移し、海外向けの販売も大幅に伸長した結果、売上高は24億93百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

② I A 事業

I A 事業は、売上高150億36百万円（前年同期比23.1%増）、営業利益は21億23百万円（前年同期比46.9%増）となりました。

F A 関連は、半導体、電子部品及び二次電池向けの需要が拡大し、中国を中心とした海外向けの販売が大幅に伸長した結果、売上高は55億89百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

M V L 関連も、半導体及び電子部品業界向けの販売が好調に拡大しており、売上高は66億64百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

I P C 関連は、半導体製造装置向けで産業用コンピュータの販売が堅調に推移した結果、売上高は20億86百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

M E C T 関連は、売上高は6億96百万円となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、2021年11月に連結子会社化したミツテック株式会社を、I A 事業のM E C T 関連としております。

※M E C T : Mechatronics (メカトロニクス)

③ E M S 事業

E M S 事業における外部顧客への売上高は、生産受託案件の増加により4億22百万円（前年同期比28.4%増）となりました。一方、営業利益は為替変動による原価率の上昇により、1億11百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は615億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億73百万円増加しました。

流動資産は462億86百万円となり、37億42百万円増加しました。これは主に、原材料及び貯蔵品等の棚卸資産が18億46百万円増加したことに加え、売上高の増加により受取手形及び売掛金が11億42百万円増加したことによるものであります。

固定資産は152億56百万円となり、31百万円増加しました。これは主に、投資有価証券等の投資その他の資産が1億31百万円、償却等により顧客関係資産等の無形固定資産が99百万円それぞれ減少したものの、建物及び構築物等の有形固定資産が2億62百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は222億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少しました。これは主に、長期借入金等の固定負債が13億81百万円増加したものの、短期借入金等の流動負債が15億3百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は392億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億95百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が25億87百万円、為替換算調整勘定が13億48百万円それぞれ増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して8億73百万円増加し、179億93百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は14億87百万円（前年同期は22億98百万円の獲得）となりました。これは主に棚卸資産の増加（13億99百万円）、法人税等の支払（13億71百万円）、売上債権の増加（5億95百万円）により資金が減少したものの、税金等調整前四半期純利益の確保（43億円）により資金が増加したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億90百万円（前年同期は6億36百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出（4億17百万円）、無形固定資産の取得による支出（1億25百万円）により資金が減少したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億3百万円（前年同期は10億79百万円の使用）となりました。これは主に長期借入れによる収入（21億円）があったものの、短期借入金の減少による支出（18億81百万円）、配当金の支払（5億32百万円）により資金が減少したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、SS事業の欧米向けやIA事業のアジア向けの販売が、為替レートの円安と相まって想定を上回り伸長するなど、好業績の結果となりました。

通期の業績予想につきましては、足元の好調な引き合いが継続する見通しである一方で、世界的な半導体や電子部品等の需給逼迫による原材料価格及び物流コストの高騰など、事業活動に及ぼす影響が極めて不透明であるため、当初予想を据え置いておりますが、今後開示すべき事由が発生した際には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,120	17,993
受取手形及び売掛金	10,444	11,586
有価証券	133	323
商品及び製品	3,970	4,414
仕掛品	1,894	1,550
原材料及び貯蔵品	5,771	7,518
未収還付法人税等	207	110
その他	3,060	2,855
貸倒引当金	△57	△66
流動資産合計	42,544	46,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,308	3,511
機械装置及び運搬具(純額)	333	398
工具、器具及び備品(純額)	836	761
土地	2,480	2,520
建設仮勘定	35	64
有形固定資産合計	6,993	7,256
無形固定資産		
特許権	362	320
商標権	411	379
顧客関係資産	642	568
のれん	1,052	1,090
その他	735	746
無形固定資産合計	3,204	3,105
投資その他の資産		
投資有価証券	2,117	2,000
長期貸付金	373	439
繰延税金資産	1,954	1,846
その他	612	640
貸倒引当金	△31	△32
投資その他の資産合計	5,026	4,895
固定資産合計	15,224	15,256
資産合計	57,769	61,543

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,589	3,045
短期借入金	10,520	8,694
1年内返済予定の長期借入金	164	642
未払金	1,260	1,115
未払法人税等	1,370	991
賞与引当金	988	662
その他	1,667	1,906
流動負債合計	18,562	17,058
固定負債		
長期借入金	210	1,656
繰延税金負債	1,146	1,070
再評価に係る繰延税金負債	22	22
退職給付に係る負債	1,366	1,371
役員退職慰労引当金	180	137
その他	919	969
固定負債合計	3,846	5,227
負債合計	22,408	22,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	7,580	7,580
利益剰余金	27,549	30,137
自己株式	△3,594	△3,587
株主資本合計	34,333	36,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	△41
土地再評価差額金	△5	△5
為替換算調整勘定	725	2,074
退職給付に係る調整累計額	△30	△18
その他の包括利益累計額合計	738	2,008
新株予約権	275	303
非支配株主持分	12	15
純資産合計	35,360	39,256
負債純資産合計	57,769	61,543

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	22,750	27,241
売上原価	10,888	13,310
売上総利益	11,862	13,930
販売費及び一般管理費	9,341	10,340
営業利益	2,520	3,590
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	8	9
投資有価証券売却益	10	18
投資事業組合運用益	5	-
為替差益	108	566
受取賃貸料	13	9
保険返戻金	36	45
持分法による投資利益	7	35
補助金収入	128	13
その他	32	37
営業外収益合計	362	747
営業外費用		
支払利息	18	26
売上割引	11	-
賃貸費用	4	5
投資事業組合運用損	-	0
その他	5	8
営業外費用合計	41	41
経常利益	2,841	4,297
特別利益		
固定資産売却益	2	6
特別利益合計	2	6
特別損失		
固定資産除売却損	13	3
投資有価証券売却損	1	-
関係会社株式評価損	32	-
事務所移転費用	32	-
特別損失合計	80	3
税金等調整前四半期純利益	2,763	4,300
法人税、住民税及び事業税	1,038	1,082
法人税等調整額	△197	96
法人税等合計	840	1,179
四半期純利益	1,922	3,121
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,921	3,120

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,922	3,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	△90
為替換算調整勘定	683	1,350
退職給付に係る調整額	18	12
その他の包括利益合計	729	1,271
四半期包括利益	2,651	4,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,649	4,390
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,763	4,300
減価償却費	687	747
のれん償却額	111	140
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△82	△43
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	175	△332
受取利息及び受取配当金	△19	△20
支払利息	18	26
為替差損益 (△は益)	△45	△92
持分法による投資損益 (△は益)	△7	△35
補助金収入	△128	△13
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△8	△18
投資事業組合運用損益 (△は益)	△5	0
関係会社株式評価損	32	-
固定資産除売却損益 (△は益)	10	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,646	△595
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△502	△1,399
仕入債務の増減額 (△は減少)	774	38
その他	442	151
小計	2,570	2,858
利息及び配当金の受取額	16	14
利息の支払額	△17	△26
補助金の受取額	128	13
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△400	△1,371
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,298	1,487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△335	-
有価証券の取得による支出	-	△100
有価証券の売却及び償還による収入	200	4
投資有価証券の取得による支出	△200	△100
投資有価証券の売却及び償還による収入	181	40
有形固定資産の取得による支出	△424	△417
有形固定資産の売却による収入	6	8
無形固定資産の取得による支出	△68	△125
貸付けによる支出	△4	△9
貸付金の回収による収入	7	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△636	△690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△249	△1,881
長期借入れによる収入	-	2,100
長期借入金の返済による支出	△199	△183
配当金の支払額	△569	△532
リース債務の返済による支出	△61	△104
自己株式の取得による支出	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,079	△603
現金及び現金同等物に係る換算差額	422	679
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,004	873
現金及び現金同等物の期首残高	14,583	17,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,588	17,993

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、収益は顧客との契約において約束された対価から、リベート及び売上割引を控除した金額で測定しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

なお、当該会計方針の変更が当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	9,961	12,218	328	22,508	242	22,750	-	22,750
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	33	5	4,711	4,751	18	4,769	△4,769	-
計	9,995	12,223	5,040	27,259	260	27,520	△4,769	22,750
セグメント利益又 は損失(△)	1,199	1,445	112	2,757	△20	2,736	△215	2,520

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及び環境体験学習運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△215百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
防犯関連	7,956	-	-	7,956	-	7,956	-	7,956
自動ドア関連	2,493	-	-	2,493	-	2,493	-	2,493
FA関連	-	5,589	-	5,589	-	5,589	-	5,589
MVL関連	-	6,664	-	6,664	-	6,664	-	6,664
IPC関連	-	2,086	-	2,086	-	2,086	-	2,086
MECT関連	-	696	-	696	-	696	-	696
その他	1,058	-	422	1,481	273	1,754	-	1,754
顧客との契約か ら生じる収益	11,509	15,036	422	26,968	273	27,241	-	27,241
外部顧客への 売上高	11,509	15,036	422	26,968	273	27,241	-	27,241
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	39	16	5,602	5,658	29	5,687	△5,687	-
計	11,548	15,053	6,025	32,626	302	32,929	△5,687	27,241
セグメント利益	1,554	2,123	111	3,790	3	3,793	△203	3,590

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及び環境体験学習運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△203百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。